

運輸安全マネジメント

新潟新興交通有限会社

輸送の安全に関する基本的な方針

- 1、社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹である事を深く認識し、事業において、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を全従業員に徹底させるとともに、内部において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。
- 2、社長は、安全マネジメントを確実に実施し、全従業員が一体となって輸送の安全の確保を図るべく指導するとともに、絶えず輸送の安全性の向上を図る。
- 3、社長は輸送の安全に関する情報について、積極的に公表する。
- 4、社長を始め、全従業員が一体となって、輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。

【新潟新興交通の輸送の安全に関する取り組み】

① 令和 6 年度の取り組み結果

当社所有バスの令和 5 年度の交通事故 11 件について分析したところ

- ・車両後退時の事故 7 件
- ・車両の大きさなどの誤認による事故 3 件
- ・その他 1 件

でした。

そこで

- ・バック時の降車確認励行
- ・車両感覚の再確認

を令和 6 年度の重点対策として「物損事故 6 件以下」を目標に取り組みましたが、残念ながら結果は 13 件の物損事故が発生してしまい目標を大幅に上回ってしまいました。

13 件の全ての事故を分析しますと、事故総数のうち 6 件（約 46%）が車両後退時の安全不確認によるもの、4 件が（約 30%）が車両感覚の誤認による事故でした。

幸いにも人身事故の発生はなく、いずれも損害は軽微でありましたが、これを軽視せず、より重点を絞った対策を打ち出していく必要があると考えました。

以下は令和 6 年度の事故発生状況です。

有責事故	他責事故	人身事故	物損事故	重大事故	軽微事故
13	0	0	13	0	13

- * 車両後退時の事故 6 件
- * 車両の大きさなどの誤認による事故 4 件
- * 安全確認不足による事故 2 件
- * その他 1 件

② 令和7年度の取り組み

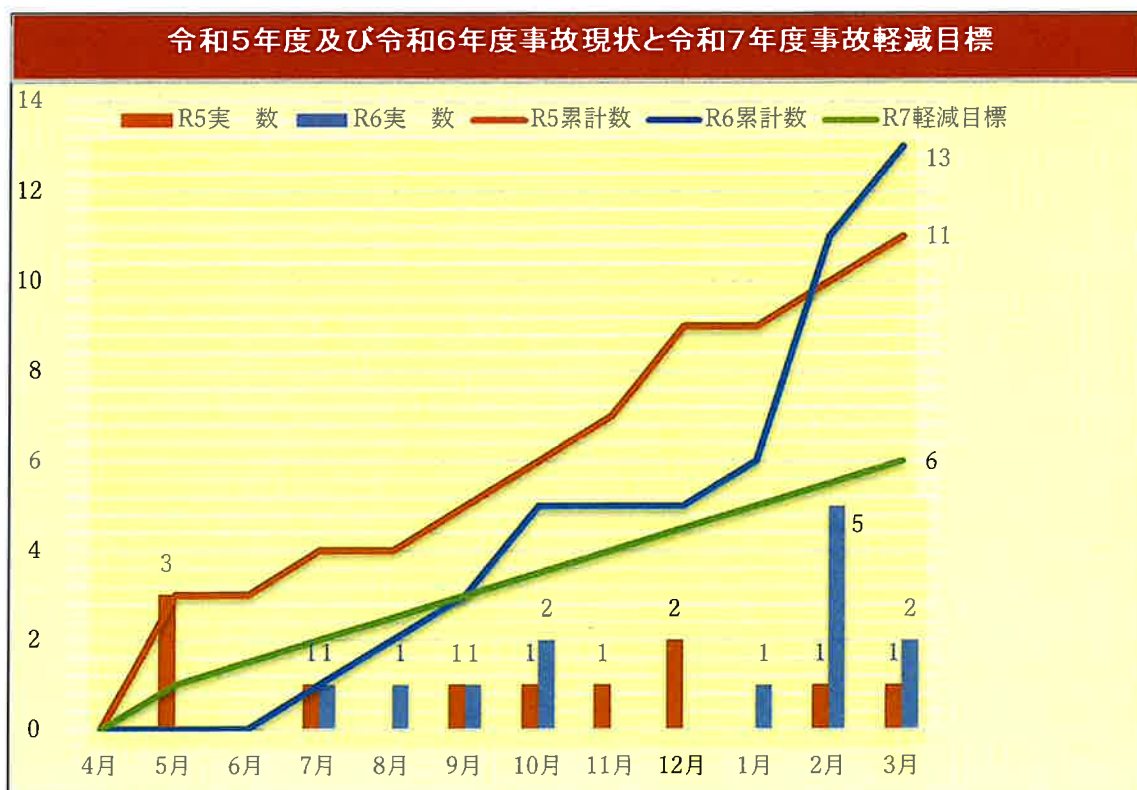
過去5年間の新潟新興交通の交通事故発生状況を分析すると、車両後退時の安全不確認によるものが約45%、車両感覚の誤認によるものが約31%を占め、やはりバス車体の大きさによるリスクが如実に表れています。そのため後退事故防止対策として当社所有の全車両にバックモニターを装備したものの今度は、バックモニターを過信してしまうヒューマンエラーが発生する状況にありました。

そこで令和7年度は、

- ・バック時の降車確認の徹底
- ・バスの死角や車両間隔の再確認

を重点対策としたうえで、出庫点呼時には、「新潟新興交通『安全計画』」に基づいて毎月の安全運行のための実践事項をドライバーに呼称させ具体的な行動指針を示し意識改革を図って交通事故防止に努めたいと考えます。

その上で、前年度達成できなかった6件以下の事故軽減目標を令和7年度の目標に再度定め、目標達成に最善努力してまいります。



③ 令和7年度『安全計画』～月別呼称事項（点呼時の宣言）

【令和7年4月】

- バック時は、降車して目視で安全確認に努めます
- お客様が乗車したならば、シートベルトの着装を呼びかけます

【令和7年5月】

- バック時は、降車して目視で安全確認に努めます
- 本日運転するバスの高さ、幅、長さを運行点検時、確認します

【令和7年6月】

- 横断歩道では歩行者に注意し、渡ろうとする時は必ず手前で停車します
- バス事故の大きなリスクを再認識、「だろ運転」を排除します

【令和7年7月】

- 暑い日が続いても、気持ちにゆとりをもって、思いやり運転に心掛けます
- 今日、お客様の安全に配慮した運行に努めます

【令和6年8月】

- 当社では、後退事故が一番多いことを再認識します
- 乗る前に本日運行するバスの高さ、幅、長さを確認します

【令和6年9月】

- 空車のときこそ落とし穴、気を緩めずに運転します
- 今日大事な命をあずかって、安全運行致します

【令和6年10月】

- 「だろ」という楽観的な予測運転を排除します
- 「かもしれない」という危険予測運転に努めます

【令和6年11月】

- 「いそぐ」「あわてる」「あせり」を排除して事故防止に努めます
- 実車に比べて事故3倍、空車のときも油断しません

【令和6年12月】

- 雪道では、絶対しません、急加速、急ブレーキ、急ハンドル
- お客様にシートベルト着装を呼びかけて安全運転に努めます

【令和7年1月】

- 令和7年、新たな気持ちで無事故・無違反・安全運転に努めます
- 気を付けます、早朝、日陰の路面凍結、寒い月夜のブラックアイス

【令和7年2月】

- 車道脇の歩行者や自転車が不意に飛び出すことに十分注意して運行します
- これから乗るバスの車長、車幅、車高、そして死角を認識して運行します

【令和7年3月】

- 横断歩道では、歩行者に注意し、渡ろうとする時は、必ず手前で停車します
- 車道脇の歩行者が不意に飛び出すことを予測して十分注意して運行します

④ 令和7度『乗務員指導計画』

実施月	教 育 内 容
4 月	国土交通省【自動車運送事業者が事業用自動車の運転手に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル】より Ⅰ. バスを運転する心構え 労基法、安全基準告示の周知
5 月	同上 Ⅱ. バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと
6 月	同上 Ⅲ. バスの構造上の特性 ドライブレコーダー映像による安全指導
7 月	同上 Ⅳ. 乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項
8 月	同上 Ⅴ. 乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
9 月	同上 Ⅵ. 運行する経路又は営業区域における道路及び交通の状況
10 月	同上 Ⅶ. 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
11 月	ドライブレコーダー映像による安全指導、冬季の安全運行について 労基法、改善基準告示の周知
12 月	国交省【マニュアル】より Ⅷ. 運転者の運転適性に応じた安全運転
1 月	同上 Ⅸ. 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処法 前年の交通事故状況について
2 月	同上 X. 健康管理の重要性
3 月	同上 XI. 安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法

他、各月毎にタイムリーな事例に基づく指導や、NASVA KYT 資料を使用した指導を予定

⑤ 代表による安全宣言

当社では、昨年、多くの新入ドライバーが入社し、プロドライバーとしての技術の錬磨と安全運行意識の向上を目的とした新人教育に力を尽くしてまいりましたが、これは、物事を教える側にも、改めて基本に立ち返り自らの運転技術に反省をもたらす結果となり、ひいては良い意味で社内意識の刷新に繋がったと感じております。

兼ねてから私は、当社の基本理念として「バス運行は安全が第一」「お客様を安全に、そして快適に目的地へ運ぶことを使命とする」ことを提唱してまいりました。新型コロナウイルス感染も終息し、経済活動も活発化しており、観光バス運行も回復基調が続いていますが、もう一度、入社した新人ドライバーのごとく、安全運行の基本に立ち返り、引き続き「安全第一」を社是として法令の遵守と安全の確保に努め、安心、安全で快適なバス運行の会社を目指してまいります。

令和7年4月1日 新潟新興交通有限会社 代表取締役 坂井 賢一